

健康被害.....

# 予防事業たより



ERCA

2006年7月号

No.36



みんなで記録更新にチャレンジしよう!!

ぜん息児

## 水泳記録会



今年は9月23日(大阪)、10月14日(東京)に開催を予定しています。詳細は8ページをご覧ください。

\*写真は昨年の様子です。

### 目次

### CONTENTS

|                                         |    |
|-----------------------------------------|----|
| 「エコカーワールド2006 & エコライフ・フェア2006」の報告 ..... | 2  |
| 公害健康被害予防事業の業務紹介 .....                   | 4  |
| 平成18年度公害健康被害予防事業予算の概要 .....             | 5  |
| 調査研究発表会 .....                           | 6  |
| イベント等の開催予定 .....                        | 8  |
| その他の事業 .....                            | 9  |
| 平成18年度大気汚染防止推進月間事業のお知らせ .....           | 10 |
| 新刊パンフレットのご案内 .....                      | 11 |

# エコカーワールド2006 &

毎年6月は「環境月間」として、6月5日の「環境の日」を中心に各地でいろいろな行事が行なわれています。

今年は、6月3日(土)、4日(日)の2日間、横浜みなとみらい21赤レンガ倉庫特設会場では当機構と環境省、横浜市が主催する《エコカーワールド2006》が、代々木公園ケヤキ並木(NHKホール前)では当機構のほか、行政、企業、民間団体などの出展によって、《エコライフ・フェア2006》が開催されました。

## エコカーワールド2006



エコカーキャラクター  
アスカーくん

エコカーワールドも今年で21回目を迎えました。

電気自動車や燃料電池自動車などの低公害車(エコカー)が約90台展示された他、お子様が電気自動車の運転を疑似体験できるコーナーやソーラーカーを作ってタイムトライアルするコーナーなど、身近にエコカーの魅力を感じられるイベントに多くの方々が訪れました。

エコカーを選ぶ、エコドライブを実践することが、私たちが身近に取り入れることのできる『環境にやさしいライフスタイル』なのです。



小池環境相もお見えになった



オープニングセレモニー



展示場



機構ブースの様子



KIDSエコカー試乗コーナー

# エコライフ・フェア2006

初日は曇り、2日目は晴れ時々曇りとますますの天候にも恵まれ、2日間でエコカーワールド2006では、**延べ66,000人**、エコライフ・フェア2006の機構ブースでは、**延べ1,400人**の方に参加していただきました。ご来場ありがとうございました！次にその開催の様子を紹介します。



## エコライフ・フェア2006

エコライフ・フェアは今年で17回目を迎え、参加企業の出展ブースでは環境保全や保護に関する最新技術などが展示され、親子で楽しみながら環境の知識を高めるイベントとなりました。

機構のブースでは「創ろう!よりよい環境とすこやかな暮らし」をテーマに大気汚染を改善するための低公害車や環境にやさしいエコドライブの紹介、環境保全への取り組みなどについて、クイズ形式で紹介いたしました。両日とも多くの家族連れがクイズやキャラクターショーに参加する光景が見られ、「環境月間」への意識が深まった週末となりました。



地球温暖化防止キャラクター  
アスミちゃん



応援団のJWP女子プロレス



エコドライブ紹介



クイズに挑戦



機構ブース前



会場入口



# 公害健康被害予防事業の業務紹介

## 個人補償から地域住民の健康被害予防への転換

現在の大気汚染の状況は、昭和30年代、40年代の著しい大気汚染の状況とは異なり、ぜん息等の病気の主たる原因とはいえず、ぜん息等の患者に対する民事責任を踏まえた補償を行うほどではありませんが、これらの病気に対して何らかの影響を及ぼしている可能性は否定できません。こうした大気汚染の状況の変化を踏まえ、昭和63年3月1日に第一種地域の指定解除が行われ、個人に対する個別の補償から、公害健康被害予防事業の実施など、地域住民の健康被害の予防に重点を置いた総合的な環境保健施策が積極的に推進されています。

助成事業等の対象地域は、旧第一種地域41地域とこれに準ずる地域として定められた6地域の計47地域です。



## 公害健康被害予防事業の仕組み

公害健康被害予防事業は、大気汚染の影響による健康被害の予防に寄与するため、従来から国や地方公共団体が行ってきているぜん息等に対する対策や大気汚染の改善に関する施策を補完し、地域住民の健康の確保を図る

ことを目的として実施しています。事業に要する費用は、機構に公害健康被害予防基金（約500億円）を設け、その運用益により賄うこととしています。

大気汚染の原因となる物質を排出する施設を設置する事業者  
(約400億円)



国の財政上の措置、大気汚染に関連のある事業活動を行う者  
(約100億円)

予防基金  
約500億円

### 公害健康被害予防事業

機構が自ら行うもの＝直轄事業

#### 1. 調査研究

大気汚染による健康影響及び局地的な大気汚染対策に関する調査研究

#### 2. 知識の普及

ホームページやパンフレット等による情報提供、講演会の開催等

#### 3. 研修

地方公共団体が行う公害健康被害予防事業従事者に対する研修

地方公共団体が行うもの＝助成事業

#### 1. 計画作成事業

地域の大気環境改善のための計画作成

#### 2. 健康相談事業

医師・保健師等によるぜん息等に関する相談・指導

#### 3. 健康診査事業

乳幼児対象の問診等によるぜん息発症予防の指導

#### 4. 機能訓練事業

ぜん息児を対象とした水泳・音楽訓練教室・キャンプ

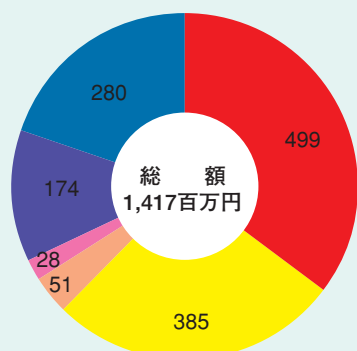
#### 5. 施設整備等整備事業

医療機器等整備等、最新規制適合車等への代替促進、大気浄化のための植樹

# 平成18年度 公害健康被害予防事業予算の概要

独立行政法人環境再生保全機構中期計画に基づき平成18年度の業務運営に関する計画（年度計画）を定め、平成18年度予算を作成しました。

## 平成18年度 公害健康被害予防事業予算の概要



- ソフト3事業
- 知識普及、研修、情報提供事業
- 最新規制適合車代替促進事業
- その他事業費
- 調査研究事業費
- 事務費等

注) ①予算額は百万円単位で四捨五入している。  
②その他事業費には、医療機器整備、大気浄化植樹事業等に係る事業費が含まれる。

予算規模については、前年度比約**4%減少**の**1,417百万円**を見込んでいます。平成18年度予算の主なポイントは次のとおりです。

- ①助成事業のうち、環境保健分野に係る事業については、ソフト3事業（健康相談、健康診査、機能訓練）等、公健法旧第一種地域等の住民のぜん息等の発症予防、健康回復に直接つながる事業の重点化を図ります。
- ②助成事業のうち、大気環境の改善分野に係る事業については、関係地方自治体等のニーズを反映しつつ、最新規制適合車等への代替促進等局地的な大気汚染地域の大気汚染の改善につながる事業を引き続き実施します。なお、国等の低公害車普及に対する補助制度が大幅に充実されてきたこと等を踏まえ、低公害車普及(助成)事業については、18年度に事業を廃止しました。
- ③知識普及、研修、情報提供事業については、
  - ・地域住民のぜん息等の発症予防、健康回復及び地域の大気環境の改善に係る知識の普及を行うため、パンフレットの作成、ぜん息専門医等による講演会の開催やぜん息電話相談などの事業を実施します。
  - ・ホームページや予防事業だより等を活用し、各事業の実施を通じて得られた最新の知見や情報を提供します。
  - ・地方自治体が実施するソフト3事業及び大気環境の改善事業の従事者を対象に、各事業への理解を深めるために事業実施に必要な知識及び技術等の習得を目的とした機能訓練研修、保健指導研修（小児・成人）、環境改善研修及び栄養指導専門研修を実施します。
- ④環境保健分野に係る調査研究については、地域住民のぜん息等の発症予防、健康回復を図るための事業の根拠となる知見の確立及び事業実施基盤の強化、事業効果の適切な把握に係る課題に重点化し、また、大気環境の改善分野に係る調査研究については、局地的な大気汚染地域の大気汚染の改善に係る課題に重点化を図ります。

# 調 査 研 究 発 表 会

## 第17回 環境保健調査研究成果発表会 (環境保健分野)

6月18日(日)時事通信ホール(東京都中央区銀座)にて、平成17年度に実施した「第6期大気汚染による健康影響に関する総合的研究(3年目)」の内容、3年間の研究成果等について、研究者より発表していただきました。当日は研究者、自治体、産業界の方など関係者77名に参加していただきました。

また、研究の発表の場を利用して、評価委員による評価が行われました。研究成果や評価結果の内容については、今後ホームページ「ぜん息などの情報館」にて掲載を予定しています。



全体討議



会場の様子

### 【第6期大気汚染による健康影響に関する総合的研究(3年目)】

#### I 健康診査事業等に係る気管支ぜん息等の発症リスクの同定に関する研究

- ・乳幼児のぜん息ハイリスク群を対象とした診査、介入による事業展開の重点化に関する研究
- ・気管支ぜん息等の発症・増悪リスクとしての環境要因の寄与の程度に関する研究

#### II 健康相談事業に係る地域連携等による保健指導に関する研究

- ・思春期気管支ぜん息患者を対象とした地域連携による保健指導のあり方に関する研究
- ・成人気管支ぜん息患者の状況に応じた自己管理手法に関する研究
- ・高齢のCOPD患者の早期診断、早期治療による発症予防のための地域連携の進め方に関する研究

#### III ソフト3事業等保健指導事業の効果の評価に関する研究

- ・気管支ぜん息患者の年齢階層毎の長期経過・予後に関する研究

当機構は、大気汚染の影響による健康被害を予防するために必要な各種の事業を行っており、その一環として調査研究事業を行っています。大きく環境保健分野、環境改善分野とに分けられ、毎年5月から6月にかけて前年度に実施した調査研究の発表を行っています。ここでは各分野別の発表の模様をご紹介します。

## 環境改善調査研究成果発表会 (環境改善分野)

6月22日(木) 東京グランドホテル(東京都港区)にて、平成17年度に実施した「局地的な大気汚染対策に関する調査研究」について、その成果の発表を行いました。研究者の他に、一般の方や自治体の方など92名の方に参加していただき、活発な意見交換がなされました。

また、研究の発表の場を利用して、評価委員による評価が行われました。これらの内容については、今後ホームページ「大気環境の情報館」にて掲載を予定しています。



会場の様子



受付の様子

### I 高活性炭素繊維を活用した浄化システムの汎用性及び実用性に関する調査

触媒的な作用があり、光照射のない常温で窒素酸化物の分解能を有する高活性炭素繊維を応用し、新たな局地汚染対策技術の可能性を検討した。

### II 局地汚染地域における窒素酸化物及び浮遊粒子状物質の複合的削減のための対策技術に関する調査研究

道路沿道などに省スペースで設置可能なNO<sub>x</sub>とSPMを同時除去できる装置の開発を目指し、排ガス処理装置の試作、その評価及び適用可能性について検討した。

### III 窒素酸化物及び粒子状に係る排出ガス診断装置の実用性に関する調査研究

ディーゼル使用過程車のテールパイプに実装することによるノンサンプリング排出ガス診断装置の実用性に関して調査研究を行っている。

### IV 大気汚染の改善に資する交通流対策に関する調査研究

日本全国ならびに海外のTDM政策事例について文献調査を実施し、成功事例を対象地域の特徴別に抽出・整理し、主に自治体での活用を前提としたTDM導入マニュアルの内容について検討を行った。

# イベント等の開催予定

## ■ 低公害車フェア

| 名 称                  | 開催予定日               | 開催地  | 会 場        |
|----------------------|---------------------|------|------------|
| 環境デーなごや              | 9月17日(日)            | 名古屋市 | 久屋大通公園     |
| 北九州エコカーフェア2006       | 10月14日(土)～10月15日(日) | 北九州市 | リバーウォーク北九州 |
| 低公害車フェア in KOBE'2006 | 10月21日(土)～10月22日(日) | 神戸市  | しあわせの村     |
| さいたま低公害車フェア(仮称)      | 11月3日(金)～11月4日(土)   | 所沢市  | 所沢航空記念公園   |
| 低公害車フェア in おおさか      | 11月30日(木)～12月2日(土)  | 大阪市  | インテックス大阪   |

## ■ ぜん息児水泳記録会

| 名 称         | 開催予定日      | 会 場               |
|-------------|------------|-------------------|
| 水泳記録会(関西地区) | 9月23日(土・祝) | 大阪プール(大阪市港区)      |
| 水泳記録会(関東地区) | 10月14日(土)  | 東京辰巳国際水泳場(東京都江東区) |

## ■ ぜん息の予防等に関する講習会

| 主 催 者   | 開催予定日     | 会 場                         | テーマ                                     |
|---------|-----------|-----------------------------|-----------------------------------------|
| 機構・四日市市 | 10月28日(土) | 四日市市総合会館                    | 井口 光正先生(国立病院機構三重病院)                     |
| 機構・東京都  | 11月上旬     | 未 定                         | 大矢 幸弘先生(国立成育医療センター<br>第一専門診療部アレルギー科 医長) |
| 機構・静岡県  | 9月～11月予定  | 静岡県男女共同参画センター<br>「あざれあ」大ホール | 未 定                                     |
| 機構・神戸市  | 12月～3月予定  | 未 定                         | 未 定                                     |

## ■ ぜん息の予防等に関する講習会(公立学校等の養護教諭対象)

| 対 象                | 開催予定日    | 会 場                   | テーマ・講師                                                                        |
|--------------------|----------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 東京都中学校・<br>高等学校関係者 | 8月4日(金)  | 東京都社会福祉保健<br>医療研修センター | 「ぜん息等アレルギー性疾患の知識と学校における対応法」<br>講師 赤澤 晃先生(国立成育医療センター総合診療部小児<br>期診療科医長 教育・研修部長) |
| 東京都特別区房<br>総地区養護学校 | 8月21日(月) | 富山町立中央公民館<br>(千葉県)    | 「ぜん息児童への日常生活での指導方法、注意点、発作時の対応等」<br>(仮題)講師 橋本 光司先生(練馬光が丘大病院小児科)                |

## ■ ぜん息フォーラム

| 主 催 者   | 開催予定日   | 会 場   | テーマ・講師                                                                                      |
|---------|---------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 機構・名古屋市 | 9月6日(水) | 鯉城ホール | 坂本 龍雄先生(名古屋大学大学院医学系研究科 助教授)<br>二村 昌樹先生(あいち小児科保健医療総合センター 医師)<br>益子 育代先生(群馬県立県民健康科学大学看護学部 講師) |

※テーマや他の日程の詳細が決まり次第、ホームページ「ぜん息などの情報館」(<http://www.erca.go.jp/asthma2/index.html>)内でお知らせいたします。



## その他の事業

### ぜん息電話相談事業

「ぜん息電話相談室」では、薬剤や症状、自己管理・日常生活に関する注意点等のぜん息に関する質問について、相談員がアドバイスを行っています。

呼吸はいーよ  
0120-598014  
FreeDial

相談期間と時間：月曜日～金曜日（祝日・土日を除く）の9時～17時

相談員：看護師、保健師、専門医

### 平成17年度 相談実績概要

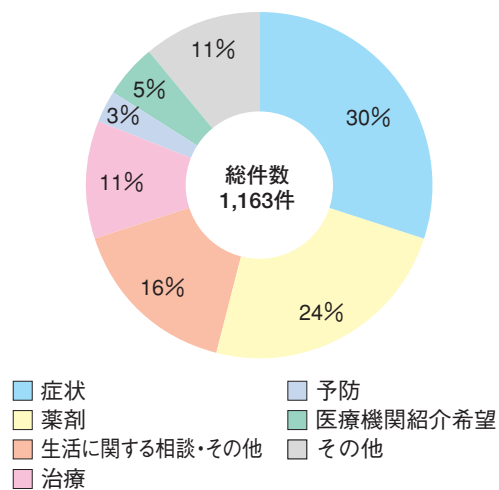
平成17年4月1日～平成18年3月31日（実日数236日間）の期間中に寄せられた内容を報告します。

総件数は1,163件で一月あたり95件前後の相談が寄せられました。

相談者は「女性（86%）」「30代（40%）」が中心で、内容は「症状（30%）」、「薬剤（24%）」に関する内容が目立ち、それ以外にも「生活全般に関する相談」から「治療・予防」、「医療関係について」など、様々な相談が寄せられました。

回答に対する評価（納得度）は90%以上「良かった」という評価をいただきました。

### 相談内容



### 機能訓練研修事業



音楽療法の指導法（実習）



呼吸介助法の実技指導

6月26日（月）～28日（水）、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、当機構が主催する機能訓練研修が行なわれました。開催期間中は、水泳訓練教室、ぜん息キャンプ事業等に携わる保健師、指導員及び事務担当者など72名の方に参加していただき、専門医によるぜん息の基本から最新情報の提供、実技指導、更にこれらの機能訓練事業に携わる医師や音楽療法士等の講義・実習を実施しました。

## 平成18年度 大気汚染防止推進月間事業のお知らせ

毎年、機構と環境省、全国都道府県が協力して大気汚染物質濃度が一年のうちで高くなる12月の一ヶ月を大気汚染防止推進月間とし、主に自動車利用者（荷主、運転者等）やビル所有者を対象とする各種啓発活動を実施して、窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）や浮遊粒子状物質（SPM）等の排出低減を呼びかけています。

今年度は昨年度に引き続き、以下の事業を行います。



### ポスター等の作成

青い空の大切さや、一人ひとりがやるべき事などを広く呼びかけるためのポスターを公募します。優秀作品は今年度の「大気汚染防止推進月間」のポスターとして12月に全国の都道府県各地に掲示されるほか、来年のカレンダー等に活用されます。

※応募方法等の詳細は機構サイト「大気環境の情報館」「大気汚染防止推進月間事業」コンテンツ（<http://www.erca.go.jp/taiki/suisin/index.html>）内をご覧ください。

### 平成17年度の実賞作品



環境大臣賞



機構理事長賞



### エコドライブコンテスト募集！



このコンテストは、急発進や急加速をしないなど環境にやさしい運転「エコドライブ活動」を全国に普及させることを目的として、募集対象地域の17自治体（昨年度は5自治体）の協力のもと、各事業所が行っている「エコドライブ活動」の実践内容と成果を選考基準に則して評価致します。

※コンテストの詳細、募集要項等などは、「大気環境の情報館」「エコドライブ」コンテンツ（<http://www.eco-drive.net/contest/>）内をご覧ください。

### 平成17年度の実賞内容（一部）

地方自治体（札幌市、東京都、川崎市、名古屋市、北九州市）の協力により、参加事業所数**113**、参加車両台数**2,924**台の実募がありました。その内容を各地域毎に評価した結果、環境大臣賞1事業所、環境再生保全機構理事長賞2事業所及び優秀賞2事業所、入賞10事業所を決定しました。



平成17年度の実彰式の様子



## 新刊パンフレットのご案内

お申し込みは12p  
【お問い合わせ先】まで



### すこやかライフNo.27～ぜん息＆慢性閉塞性肺疾患のための生活情報誌～

ぜん息、慢性閉塞性肺疾患の患者の方々に対しぜん息等の予防・回復に資するための情報提供を目的とした生活情報誌です。年2回発行しています。

#### 目次

- ◆特集…………… COPDと栄養  
体力をおとさずQOLを維持するために
- ◆医療トピックス…… 小児ぜん息の治療と管理に役立つ最新知識  
～小児気管支喘息治療・  
管理ガイドライン2005改訂ポイント～
- ◆情報コーナー…………… ぜん息やCOPDの専門家とベテランの患者  
さんが応じる「患者相談会」
- ◆現場レポート…………… 教育現場における患者教育の試み  
学校で行う「ぜん息教室」
- ◆ぜん息児へのエール… ラグビー選手・栗原 徹さん
- ◆読者のページ…………… 読者 Q & A
- ～別添～…………… 気管支ぜん息・慢性閉塞性肺疾患の基礎用語



### 予防事業の業務紹介パネル

このたび、当予防事業部では、幅広い業務を皆様に広く理解していただくため「予防事業の業務紹介」のパネルを作成し、今後の開催イベントに活用します。今後は、予防事業対象地域自治体を中心に貸出しを行う予定です。



平成18年3月作成：B全サイズ 10枚1組

※詳細はホームページ「機構のご案内」(<http://www.erca.go.jp/guide/guide/yobo.html>) をご覧下さい。





## 新刊パンフレットのご案内

お申し込みは下記  
【お問い合わせ先】まで



### 環境問題啓発ビデオ「環境 ～意識を変える・未来が変わる」

大気汚染や地球温暖化などの解説、低公害車やエコドライブなどに対する国や自治体の取り組み、市民レベルでの活動の状況などを紹介し、地球環境を守るためには一人ひとりの改革が必要であることを説明しています。

英語版もあります。

【VHS・DVD(32分)】



### 環境学習DVD アスカーちゃんとアスミちゃんが行く未来はぼくらがつくるのだ

これからの環境の保全を担っていく子供たち（小・中・高校生）を対象として、大気汚染や地球温暖化といった現在の環境問題について知り、将来に向けて何をしていくべきかを考えるためのソフトです。

中学生の龍太と未来が、みらいのエコカー「アスカー」、「アスミ」と旅をして環境問題について学ぶストーリー編、ゲームコーナー、資料編の3つで構成されており、“見る・読む・遊ぶ”を通じて楽しく学べる内容です。

【DVD（ストーリー編約50分）】



健康被害予防事業だより 第36号 2006年7月号  
発行 独立行政法人 環境再生保全機構 予防事業部管理課  
〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310  
ミューザ川崎セントラルタワー8F  
TEL:044-520-9564（ダイヤルイン）  
FAX:044-520-2134

#### 【パンフレット等のお問い合わせ先】

当機構の公害健康被害予防事業に関わる出版物等の入手またはビデオの貸し出しを希望される方は予防事業部環境改善課（044-520-9567）または、環境保健課（044-520-9568）（ダイヤルイン）（土日祝日を除く平日9:00～18:00）までお問い合わせください。費用は無料です。  
なお、当機構ホームページ（URL: <http://www.erca.go.jp>）からでも申し込みます。

次号（No.37）は、2008年1月に発行予定です。



古紙配合率100%再生紙を使用しています



環境に配慮した「大豆インキ」を使用